『言語聴覚学科』 専門基礎分野

【言語聴見字 → 授業科目名	解剖学	授業形態	講義		1年(前期)
担当教員名	島本裕士	単位数	1単位	時間数	30時間
Too and that are	〔授業概要〕 医学の基礎中の基礎をなし、正常な身体の状態を 系など系統ごとに学習する。	を研究する学	生間が解剖学。	骨格系、	筋系、神経
授業概要 学習目標	〔学習目標〕 言語聴覚士として従事する上で、発声発語器官や嚥下器官に関係する呼吸器系、循環器系、神 経系の理解が重要。本講義では特に言語聴覚士に必要な解剖学的知識を身につける。				
授業回数	授業内容				
第 1 回	p2オリエンテーション				
第 2 回	p2解剖学の定義・目的、人体の区分、解剖学的な部位表現				
第 3 回	p9骨総論、関節総論、体幹の骨、頭蓋骨				
第 4 回	p15血管系、血液、リンパ				
第 5 回	p18心臓・肺				
第 6 回	p20消化器・その他臓器				
第 7 回	p23頭頚部の骨・筋・血管				
第 8 回	p26中枢神経と末梢神経				
第 9 回	p30頭部の概要・脳の全体像				
第 10 回	p32大脳・間脳①				
第 11 回	大脳・間脳②				
第 12 回	p35脳幹・小脳				
第 13 回	p37脳の灌流領域・伝導路				
第 14 回	p41組織・発生				
第 15 回	p48まとめ				
評価方法	定期テスト80%、提出物20%				
教 科 書参考図書	〔教科書〕 生体のしくみ標準テキスト第3版				
	〔参考図書〕病気がみえるvol.7脳・神経				
	5色以上の色鉛筆を用意して下さい。100均の物で配布資料は1冊にまとめ、シラバスにページ番号				
メッセージ	鋭意努力はしますが、おもしろくありません。 l 労します。なんとかついてきてください。	_ 」かし解剖学	_ どをおろそかに	こすると他	の教科で苦